

英 語

基礎科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 上田 留理

■使用テキスト 川田伸道(編著)『続・世界の常識：違いを知ったら世界も変わる!』朝日出版社

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

グローバル化が進む中、国際語である英語の習得がますます重要となると同時に異文化間の相互理解が強く求められる時代でもある。言語と文化が密接な関係にある事から、その言語を生んだ文化的な背景を学習することは、外国語学習の第一歩であるとも言える。

本講義では Reading, Building Up Your Vocabulary, Check Your Understanding, Grammatical Point で構成されている 15 units からなる教材を通して、英語の理解と表現の更なる向上を目指すものである。

このような理由から選定された『続・世界の常識：違いを知ったら世界も変わる!—Learn the Differences, Broaden Your World! - Short Readings and Basic Grammar for Cultural Literacy—』を最も有効的に使用する上で下記の学習法を推奨するものである。

Reading : 段落(paragraph)ごとの内容を日本語でまとめ、unit 全体の理解につなげる。(必要なときには、全文を和訳する)

Building Up Your Vocabulary : 選択肢の単語を辞書で確認し、最も適切な語を()に補う。その際、辞書に複数の日本語が紹介されていた時には、本文中で使われた意味を選ぶことが重要となる。

Check Your Understanding : Reading での内容理解が質問に答える鍵となるので、Reading で行った日本語を確認する。

Grammatical Point : 英語習得の基本となる英文法・構成の学習を目的としているので、説明を熟読し、理解を深める事が望まれる。

注：CD、テープは使用しない。

到達目標

- 1) 文法・校正を理解し、本文の英語を和訳することができる。
- 2) 章ごとに紹介される単語を覚え、英文中で使うことができる
- 3) 基本文法、構成を再度学習する事により、英文が作成できる

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

Unit 1: Given Name First Is Not the Rule in Many Places 一間違えない名前の呼び方一

4つの品詞とその働き / 前置詞

Unit 2: New Year's Day 一西洋の新年、東洋の新年一

基本文型 (1) : 第1文型～第3文型 / 形容詞

Unit 3: Laundry ー洗濯物ってどこに干す？ー

基本文型（2）：第4文型～第5文型

Unit 4: How Do You Write the Date? ー日付けの書き方ー

疑問文／付加疑問文

Unit 5: The Sakura of Washington D.C. ーワシントンの桜ー

時制（1）：現在、過去、未来／句と節

Unit 6: A Global Beauty Standard? ー世界的な美の基準ってあるの？ー

時制（2）：進行形、完了形

Unit 7: Crosswalks ー横断歩道ー

助動詞

Unit 8: Forks, Chopsticks or Hands? ー何を使って食べる？フォーク、お箸それとも手で食べる？ー

動名詞／副詞

Unit 9: A Friendly Way to Greet Foreigners ー挨拶のやり方って奥深い！？ー

to 不定詞

Unit 10: A Life of School Uniforms and School Lunches ー世界の給食と制服ー

受動態

Unit 11: Japanese Animation Heroes Have Fans

All Over the World

ー日本のアニメは世界で人気！ー

分詞／数・量を表す形容詞

Unit 12: American Work Hours and Overtime ーアメリカの労働時間ー

接続詞／分詞構文

Unit 13: The Globalization of Christmas ークリスマスの祝い方いろいろー

原級／比較級／最上級

Unit 14: Do You Have to Stop Working

When You Have Kids?

ー女性と仕事ー

関係代名詞／関係副詞

Unit 15: Do People's Names Change after Marriage? ー婚姻後の女性の名前ー

仮定法